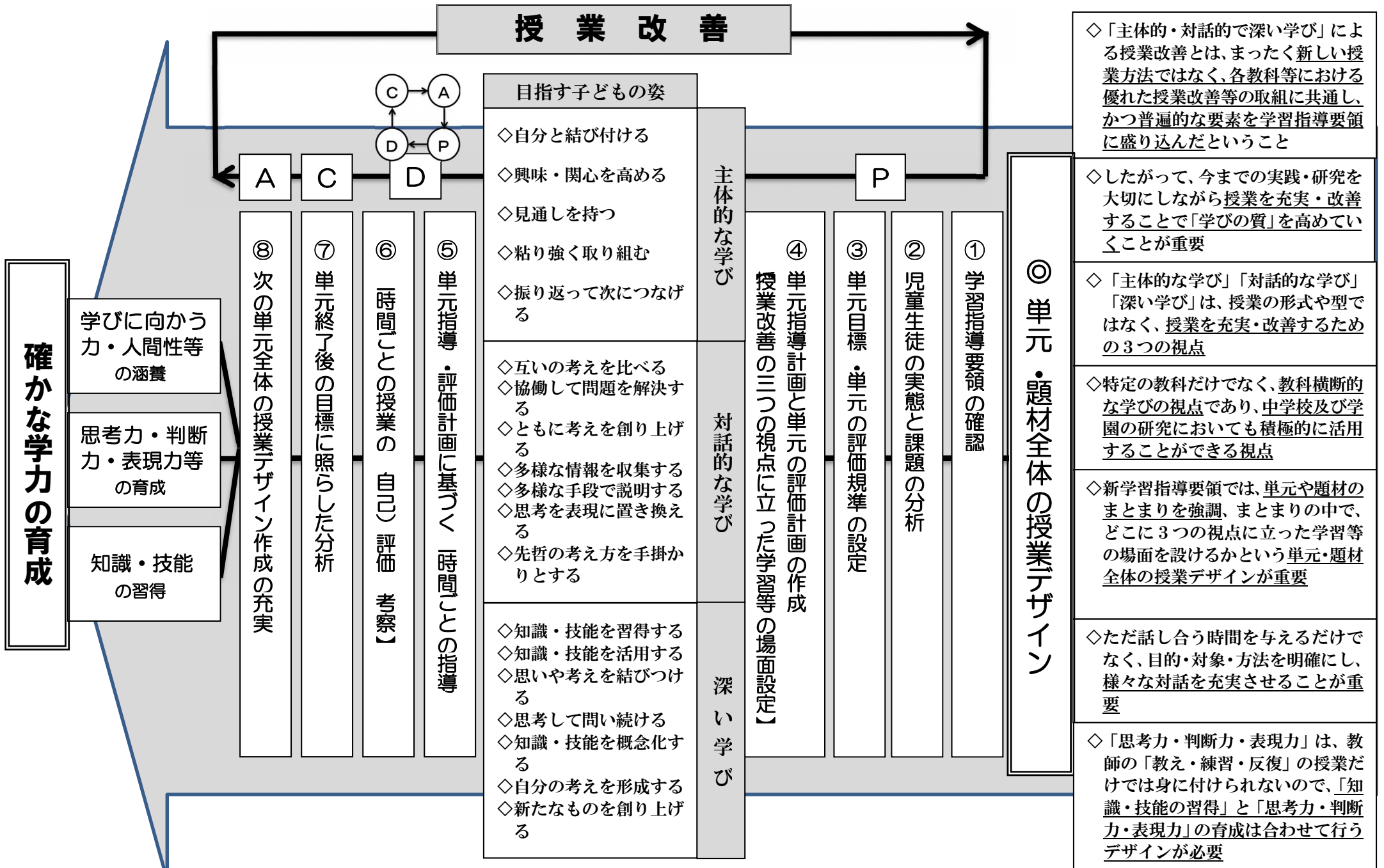


『主体的・対話的で深い学び』による授業改善の具体について



確かな学力の育成

学びに向かう力・人間性等の涵養

思考力・判断力・表現力等の育成

知識・技能の習得

◇「主体的・対話的で深い学び」による授業改善とは、まったく新しい授業方法ではなく、各教科等における優れた授業改善等の取組に共通し、かつ普遍的な要素を学習指導要領に盛り込んだということ

◇したがって、今までの実践・研究を大切にしながら授業を充実・改善することで「学びの質」を高めていくことが重要

◇「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は、授業の形式や型ではなく、授業を充実・改善するための3つの視点

◇特定の教科だけでなく、教科横断的な学びの視点であり、中学校及び学園の研究においても積極的に活用することができる視点

◇新学習指導要領では、単元や題材のまとまりを強調、まとまりの中で、どこに3つの視点に立った学習等の場面を設けるかという単元・題材全体の授業デザインが重要

◇ただ話し合う時間を与えるだけでなく、目的・対象・方法を明確にし、様々な対話を充実させることが重要

◇「思考力・判断力・表現力」は、教師の「教え・練習・反復」の授業だけでは身に付けられないので、「知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力」の育成は合わせて行うデザインが必要